

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	有	電話	042(769)8226
担当部課名	市民部	市民生活	課	
事務事業名	ふれあい広場事業(広場整備事業)		事業コード	17120

1 総合計画における位置づけ

政策名	第7章	個性豊かなコミュニティづくりを進めます	事業開始年度
基本施策名	第1節	市民全体のまちづくり	~63 年度
施策名	第2施策	コミュニティ活動の支援	

2 実施根拠及び関連法令等

相模原市立ふれあい広場条例、同施行規則、同設置基準、同要綱

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)							
広場は地域住民の軽スポーツ、レクリエーション、文化活動のコミュニティ活動を促進する多目的広場として設置し、もってふれあいのある明るいまちづくりを目指すものとする。		市民一般							
		対象数	46箇所(各公民館2箇所)						
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要							
(仮称)相武台第一ふれあい広場整備工事		なし							
便所建設工事	2,194,500	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">(5) 個別計画の概要</td> </tr> <tr> <td>計画名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計画年次</td> <td>年度~ 年度</td> </tr> </table>		(5) 個別計画の概要		計画名		計画年次	年度~ 年度
(5) 個別計画の概要									
計画名									
計画年次	年度~ 年度								
給排水衛生設備工事	3,832,500								
ベンチ設置工事	485,000								
計	6,512,000								

4 評価指標

指標名	広場整備達成率		
指標式	$\frac{\text{本格整備箇所} / \text{整備箇所} \times 100}{1 \text{箇所} / 1 \text{箇所} \times 100} = 100$		
指標設定の意図	暫定整備から本格整備への成果度合いを表す		

5 目標と実績

[金額単位：千円]

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標	50	0	a 100	b 100	100	
指標			c	d		
指標			e	f		
事業費	決算(予算)額	74,785	0	6,512	6,512	31,810
	人員・時間数	1.0人	1.0人	1.0人	1.0人	1.0人
	人件費	8,420	8,420	8,420	8,420	8,420
	その他経費	0	0	0	0	0
	合計	83,205	8,420	14,932	14,932	40,230
特定財源	0	0	0	0	0	

6 個別評価

(1) 達成度…目標をどれだけ達成したか		
評価 A ▼	A : 達成している (100%)	= 、 、 の平均値 = 100.0%
	B : 一部達成していない(100%> 80%)	
	C : 達成していない (80%>)	

$\frac{a}{b} \times 100 = 100.0\%$	$\frac{c}{d} \times 100 =$	$\frac{e}{f} \times 100 =$
------------------------------------	----------------------------	----------------------------

理由 :

(2) 必要性…時代変化に適応した事業内容か		
評価 A ▼	A : 適応している	理由 : 人口の急激な増加に対応したオープンスペースの確保はまだ十分といえず、都市公園とは異なる機能を持った多目的広場として、地域のコミュニティを推進して行く必要がある
	B : 一部適応していない	
	C : 適応していない	

(3) 経済性・効率性…費用対効果は妥当か		
評価 A ▼	A : 妥当である	理由 : 多目的広場として、コミュニティ活動を促進するための付帯設備であり、防犯灯、便所、防球ネット等の必要最小限の設備であり、必要不可欠である
	B : 一部妥当でない	
	C : 妥当でない	

(4) 事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か		
評価 A ▼	A : 代替の可能性ない	理由 : 地域住民のレクリエーション、文化活動等のコミュニティ活動を促進する環境づくりの一環であり、地域の活動拠点となるものである
	B : 代替の可能性低い	
	C : 代替の可能性高い	

(5) 市民満足度…対象市民の満足は得られているか		
評価 B ▼	A : 満足できる	理由 : 広場の設置、整備については、1公民館区2箇所目標の中で設置しており、まだ未設置の公民館区もあり、且つ、広場の整備状況についても、全てが本格整備ではなく暫定整備の箇所があるため
	B : 一部満足できない	
	C : 満足できない	

(6) 有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か		
評価 A ▼	A : 有効である	理由 : 市民の多様なコミュニティ活動を促進するため、地域の活動拠点を整備し、充実を図る上で有効である
	B : 一部有効である	
	C : 有効でない	

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ある</p> <p><input type="checkbox"/> ない</p> <p>説明 : 未設置の公民館区が3公民館区あり、且つ、暫定整備の状態、本格整備がなされていないため</p>
	<p>コスト改善余地</p> <p><input type="checkbox"/> ある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ない</p> <p>説明 : 多目的広場としての必要最小限の設備投資であるため</p>

7 総合評価

評価 A ▼	他自治体の類似事業との比較	今後の進め方	<p>説明</p> <p>ふれあい広場整備事業は、急激な人口増加や集中により急速に開発が行われ、市街化の進行は長い時間をかけて培われてきた。しかし、その反面地域の共同意識に大きな影響を与え、地域のまとまりや連帯感の欠如という状況が生じる事になった。 したがって、地域のオープンスペースとして利用する公園や緑地はある程度の確保が見られるが、地域の祭りや地域でのコミュニティを促す目的で設置するふれあい広場の数は、まだ不十分である。</p>
		<input checked="" type="checkbox"/> 継続	
<input type="checkbox"/> 見直し			
<input type="checkbox"/> 廃止			
<input type="checkbox"/> 完了			

8 二次評価における変更点

・広場未設置公民館区の1箇所整備を優先し、その他については先延べするなど財政状況を考慮して、検討すべきである。